

東洋経済**CSR**調査・評価説明会

2025年4月14日

株式会社東洋経済新報社

CSRデータ開発チーム、財務・企業評価チーム

- 東洋経済CSR調査・評価の概要のご説明
 - 基本的な調査・評価方法、考え方の共有
 - ご活用いただきたい関連資料のご紹介
- 前回調査結果のご紹介
 - 東洋経済CSR調査ご回答情報をさらにご活用いただくヒントになる情報のご提供
- 双方向のコミュニケーションの場を提供
 - 直接ご質問いただける場、社内外の方との意見交換の場

1. 東洋経済CSR調査の概要・関連サービスのご案内
2. 前回調査・評価についてのご説明
3. 今後の東洋経済CSR調査について
4. 質疑応答・ディスカッション

東洋経済**CSR**調査の概要・ 関連サービスのご案内

株式会社東洋経済新報社
『CSR企業総覧』編集部
伊東 優

1. 「東洋経済CSR調査」の概要
2. ご回答情報を利用した刊行物・関連サービスの説明について
3. 調査に関する東洋経済の取り組みのご紹介

「東洋経済CSR調査」の概要

創刊の辞

健全なる経済社会は
健全なる個人の
發達に待さるへからず。
政府に対しては監督者、
忠告者、苦諫者となり、
實業家に対しては
親切なる忠告者、
着實なる訓戒者、
高識にして迂遠ならさる
先導者とならん。

創業者／町田忠治の『東洋経済新報』創刊の辞より

まじめな「異論」で、 未来を拓く

【創立】：1895（明治28）年11月15日

【事業】『週刊東洋経済』、『会社四季報』、
『業界地図』、『就職会社四季報』などを発
行する経済出版社。「東洋経済オンライン」
「四季報オンライン」などのWebサービス・
動画配信、データベースサービスも手掛ける

目的

1. 経済出版社として、中立的な立場からCSR・ESG・サステナビリティの情報を収集し、『CSR企業総覧』を発行する
⇒「報道」としてのCSR情報の収集・発信
2. 『CSR企業総覧』や東洋経済CSRデータなどを通じて、収集した情報・評価を学術研究、株式投資、企業研究など幅広い分野で活用できるように、広く世に提供していく

手段

1. 横並びで比較可能なCSR情報の収集・整備
⇒基本的かつ業種横断的な情報（方針・制度・取り組み・数値情報）
2. CSR関連の評価・分析手法の開発と結果の公表

「よい会社」「信頼される会社」を見つけるための基礎情報を収集・発信し、日本のCSR活動の発展に寄与する

東洋経済CSR調査の特徴・詳細 ▶▶▶ ランキング・集計

- 東洋経済110周年（2005年）記念事業として開始
- 中立的な立場から調査を実施
- 「よい会社（信頼される会社）」を見つけるための基礎情報を収集
- CSR評価・財務評価を行い、企業の総合評価を作成
- 集めた情報はすべて『CSR企業総覧』『東洋経済CSRデータ』などで公表・提供



掲載情報

- 会社基本データ
- CSR & 財務評価・格付け
- CSR全般
- ガバナンス・法令順守・内部統制
- 雇用・人材活用
- 消費者・取引先対応
- 社会貢献
- 企業と政治の関わり
- 環境



東洋経済 ONLINE 130th



東洋経済CSR調査の概要②

- 時期：6月末調査票発送、8月下旬締め切り
- 対象：全上場企業、前回回答未上場企業
- 方法：主にアンケート（郵送・電子調査票）
- 回答種別：

総合調査

1. 雇用・人材活用編（A3×4枚）

2. CSR全般・社会貢献・内部統制等編（A3×4枚）

3. 環境編（A3×3枚）

基礎調査（A3×1枚）※総合調査の抜粋版。初回回答企業向け

※枚数は2024年調査実績
※回答は総合調査か基礎調査のいずれか一方。両方回答は不要

- 特徴：
業種・規模に関わらず共通の調査票で調査

皆様のご協力のもと、アンケートを中心に情報収集を実施

- 調査の宛先は「窓口ご担当情報」記載のご担当者様

- メールでの調査開始時や説明会開催などのご案内、「CSR Fileダウンロードシステム」のログインID・パスワードも記載の宛先に送信

- ご担当者様に変更があった場合：

- ① 調査期間中：

「窓口ご担当情報」を更新してご返送ください

- ② 調査期間外：

CSRデータ開発チーム (csr@toyokeizai.co.jp) までご連絡ください

東洋経済 第19回「CSR(企業の社会的責任)調査」(2023年)
東洋経済サステナビリティフォーラム
「窓口ご担当情報」記入用紙

★この記入用紙は調査票と併せて必ずご返送ください
※ご入力には必ずAdobe Acrobat Reader(Adobe)をご利用ください

●次回(※年度)調査をお願いする際の調査票送付先(※ご記入いただく各部門のご担当者に対し、1.ご記入の依頼、2.ご記入者の取りまとめ、3.まとめてご返送をお願いできる「窓口ご担当情報」につきまして、以下①～④の各項目にご記入をお願いします(①～④:必須、⑤～⑥:任意)。CSR Fileダウンロードシステムなどをご利用いただける東洋経済サステナビリティフォーラムのご連絡先も兼ねておりますので、必ずご返送ください。

小社使用コード(小社で記入いたします)：

①貴社名

「CSR調査票」の送付先情報(「窓口」をお願いできるご担当者様の情報)

②部署名

③役職名1

④氏名1

⑤住所 〒

ビル名

⑥TEL

⑦FAX

⑧E-mail1

※CSR Fileダウンロードシステムなどをご利用いただける東洋経済サステナビリティフォーラムのご連絡先も兼ねております。小社主催・後援CSR調査セミナーなどの各種お知らせもこちらのご連絡先にお送りいたします(主に電子メールとなります)

⑨氏名2

⑩役職名2

⑪E-mail2

※⑩のアドレスへのメール送付でエラーになった場合、こちらのアドレスにお送りいたします

東洋経済サステナビリティフォーラム CSR Fileダウンロードシステム ID(ユーザー名)・パスワード

東洋経済サステナビリティフォーラムID
IDURL: <https://csr.toyokeizai.com/portal/enterabilityform/>

ID(ユーザー名):

パスワード:

※「CSR企業総覧」掲載ページ、CSR企業ラング報告書、格付け一覧表などがダウンロードできます。ID(ユーザー名)・IDからはじまります。パスワードは昨年回答企業のみ表示しております。初回ご回答の場合は「CSR企業総覧」発売後にご連絡いたします。

●ご回答ありがとうございました。お手数ですが「CSR調査票」ご返送の際に、このファイルをご返送ください。なお、調査票の期限は月25日(日)とさせていただきます。どうかよろしくお願い申し上げます。

- CSR調査関連情報はすべてWebに掲載

「東洋経済CSRオンライン」 <https://biz.toyokeizai.net/-/csr/>

- 「東洋経済CSR調査」：各年の調査案内ページを掲載

- ご回答の手引き：調査票ごとに回答方法、考え方や項目の追加・削除・変更を掲載
- 記入例：新規項目で想定している回答事例なども掲載
- (未上場企業向け) 財務データ入力用Excelファイル
- 調査終了後に参考資料なども追加掲載

- 「東洋経済サステナビリティフォーラム」：回答企業向け説明会・セミナー等のご案内や関連資料を掲載

- X公式アカウント「CSR東洋経済 (@CSRToyokeizai)」：調査関連のお知らせや関連ランキングの公表などを周知 <https://twitter.com/CSRToyokeizai>

English X @csrtoyokeizaiさんをフォロー

- 東洋経済CSR調査
 - 第19回CSR調査 (2023年調査)
 - 第18回CSR調査 (2022年調査)
 - さらに過去分は [こちら](#)
- 東洋経済サステナビリティフォーラム
 - 2024年東洋経済調査・評価説明会 (4月23日・26日開催)
過去の説明会資料等は [こちら](#) をご覧ください。
 - 東洋経済CSR調査・評価個別ご質問会 (5月10日・13日・15日開催)
 - 2023年総合調査初回ご回答企業向け説明会 (7月24日開催[終了])
 - 東洋経済CSRセミナー (次回未定)
東洋経済サステナビリティフォーラム主催の公開セミナーとして開催しています。
 - 関連セミナー・研修・サービス (当社主催セミナー・サービス等のご紹介)
「サステナビリティ経営入門&実務講座」(オンデマンド配信 4月26日締め切り)
東洋経済CSR関連サービス (ビジネスプロモーション局)
- CSR企業総覧2024年版
 - 概要 (雇用・人材活用編 ESG編)
 - 社名索引 (雇用・人材活用編 ESG編)
 - 調査の説明・データの見方 (総合版 雇用・人材活用編 ESG編)

ご回答情報を利用した刊行物・ 関連サービスについて

- 従来の財務情報中心の企業評価の限界
- 非財務情報への注目度の高まり
 - 「未実現の財務情報」としての捉え方も
- 非財務情報の中心としての
「CSR・ESG・サステナビリティ」関連情報
- 海外・国内で幅広く情報開示の対象に
 - 情報開示に関する法規制も拡大

企業を詳しく知るための情報として注目されている



東洋経済 **CSR** データ

国内最大規模

1,715社のCSR活動を
1,090項目で徹底リサーチ

東洋経済 CSR業種別集計 (制度・体制編)

東洋経済 CSR業種別集計 (数値項目編)

東洋経済 CSR評価ランキングデータ

東洋経済 CSR企業総覧 (ランキング・集計編)



雑誌・書籍別ランキングTOP5

| | |
|----|--------------------------|
| 1位 | 経団連季報 2025-2026年 |
| 2位 | 経団連季報 2025年度 |
| 3位 | 経団連季報 東上理会 2025年 |
| 4位 | 経団連季報 2024年度 (後号) |
| 5位 | CSR企業総覧(雇用・人材活用編) 2024年度 |

『CSR企業総覧』を中心に多様な媒体でご回答情報をご紹介

- 国内最大規模のCSR・ESG・サステナビリティの専門情報誌（年刊）
- 有力・先進企業の情報を掲載（2025年版：1715社）
- 「雇用・人材活用編」と「ESG編」の2冊
- 毎年11月下旬～12月上旬頃発売

週刊東洋経済 For Research & Analysis
臨時増刊

Data Bank SERIES 2025

【雇用・人材活用編】

CSR企業総覧

有力・先進1715社のCSR(企業の社会的責任)データ

①雇用・人材活用
基礎データ 多様な人材活用 人権・労働問題 障害者雇用
人事評価・キャリア形成支援制度 ワークライフバランス
賞金・休職・請制度 労働安全衛生

②CSR & 財務評価・格付け

週刊東洋経済 For Research & Analysis
臨時増刊

Data Bank SERIES 2025

【ESG編】

CSR企業総覧

有力・先進1715社のCSR(企業の社会的責任)データ

①CSR全般 ②ガバナンス・法令順守・内部統制
③消費者・取引先対応 ④社会貢献 ⑤企業と政治の関わり
⑥環境 ⑦CSR & 財務評価・格付け

2024 J T

| 業種 | AAA | AA | A | 無評価 |
|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|
| 製造業 | 10 | 15 | 25 | 5 |
| サービス業 | 8 | 12 | 20 | 3 |
| 金融業 | 5 | 10 | 15 | 2 |
| その他 | 3 | 5 | 8 | 1 |
| 合計 | 26 | 42 | 68 | 11 |

【CSR全般】

【ガバナンス】

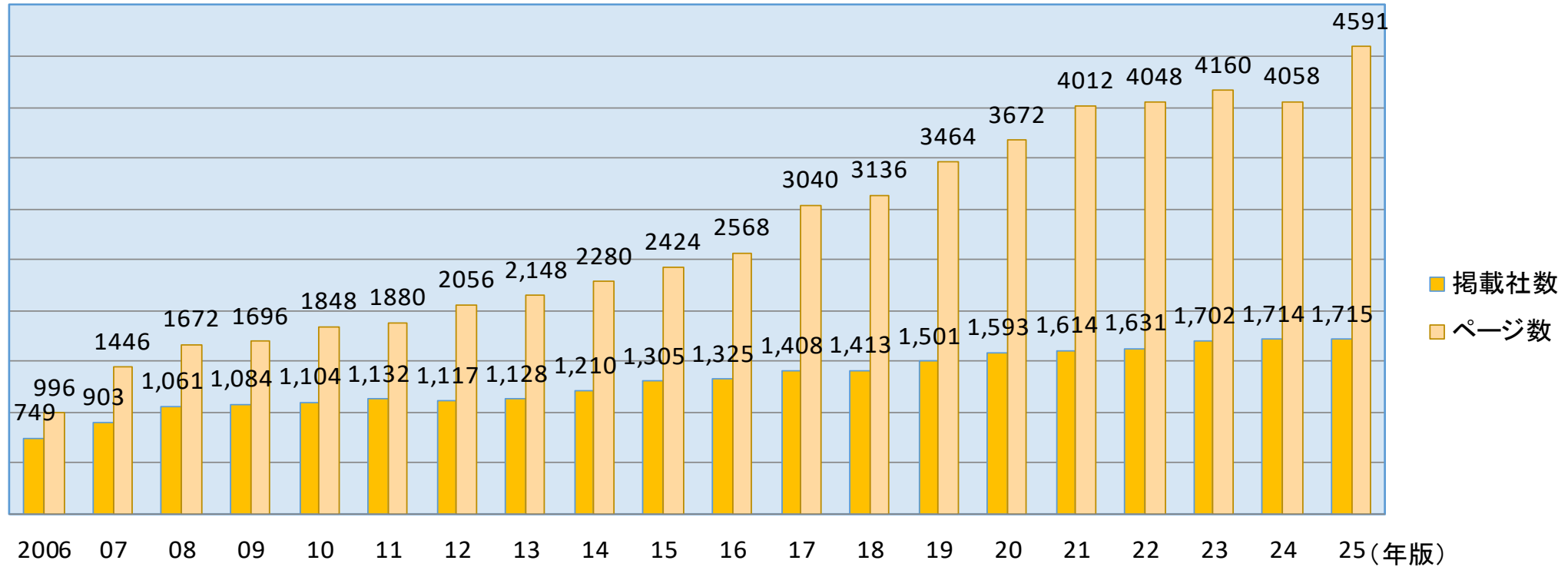
【消費者・取引先対応】

【社会貢献】

【環境】

【CSR & 財務評価・格付け】

『CSR企業総覧』掲載社数とページ数



(注) 2018年版：雇用・人材活用編、ESG編の2冊に分冊。2024年版：級数変更、ESG編に別冊電子版を追加、2025年：級数変更

『CSR企業総覧』の制作過程

- | | | |
|---|---------|--------------------------|
| ① | 調査票編集 | 編集チームによる編集作業（約15～20名） |
| ② | 編集部チェック | 『CSR企業総覧』編集部による確認（約5～8名） |
| ③ | 入力・校正作業 | 入力・校正チームによる入力・校正（約20名） |
| ④ | ゲラ確認 | 校正士が誌面を校正（約10名） |
| ⑤ | データチェック | プログラムや校正ソフトによるチェック |
| ⑥ | 最終読み | 編集部による最終確認 |

ご回答情報は人力・プログラムの両面から確認。丁寧にデータ化し、情報を収録

『CSR企業総覧（ランキング＆集計編）』

- 『CSR企業総覧（雇用・人材活用編）（ESG編）』掲載情報を
 基にした、評価・ランキング・集計データの情報誌
 - 冊子（Amazon POD版）、電子書籍でご提供
 - 旧『CSR企業白書』の後継誌（～2023年）
- 計400種超のランキングや集計表を掲載
 - 2025年3月電子版先行発売

| 項目 | 主な掲載内容（一例） |
|---------|---|
| 総合ランキング | CSR企業ランキング、ESG企業ランキング、CSR・財務格付け、SDGs企業ランキン グ、プラチナキャリアランキングなど |
| 個別ランキング | 相談役・顧問数、内部通報件数、新卒・中途採用占有率、新卒入社者の3年後定着率、 女性管理職比率、テレワーク利用率、有給休暇取得率、従業員1人あたりの年間教育研 修費用・時間、政治献金・ロビー活動等支出額、温室効果ガス排出量（スコープ1～ 3）、生物多様性保全プロジェクト支出額など |
| 業種別集計表 | 制度・方針・体制等：CSR活動のマテリアリティ設定、CSR担当部署の有無、BCP （事業継続計画）の策定など 数値項目：内部通報件数、障害者雇用率、大卒30歳平均賃金、社会貢献活動支出額、 再生可能エネルギー利用率など |



- 「週刊東洋経済」や東洋経済オンラインで各種ランキングを掲載
 - CSR企業ランキング（例年2～3月）、SDGs企業ランキング、プラチナキャリアランキングなど
 - 個別ランキング（内部通報件数、有給休暇取得率、教育研修費用・時間、炭素利益率など）
 - 東洋経済オンラインでは一部会員限定の専門的なランキングも配信
 - これまでのランキングは下記をご参照ください
<https://biz.toyokeizai.net/-/csr/ranking/ranking.html>



- 東洋経済が発行する媒体の検索・閲覧Webサービス
 - 『CSR企業総覧』シリーズが閲覧可能
- 全国130以上の大学・公立図書館・企業で導入
 - 首都圏の主要私立大学を中心に導入拡大中
<http://dbs.toyokeizai.net/dcl/index.html>
 - 『就職四季報』などに並ぶ就活生の
情報収集源のひとつに



『CSR企業総覧』 オンラインサービス

- 『CSR企業総覧』 関連情報を**検索・閲覧・印刷**可能なDCLの特別版
 - 検索：会社名・証券コード・本社所在地・業種・売上・従業員数など
 - 企業のサステナビリティ担当部署を中心に導入拡大
- 『CSR企業総覧』 最新号
+ 「週刊東洋経済」 CSR企業ランキング特集掲載号（バックナンバー含む）

<https://biz.toyokeizai.net/-/csr/pdf/service/TK-CSRSouranOnline.pdf>

『CSR企業総覧』
オンライン
サービス開始

『CSR企業総覧』最新号をWEBで検索・閲覧・印刷が可能!

- 『CSR企業総覧』 掲載情報をデータベース化
- 同誌2006年版から20年以上データを収録
- 日本最大級かつ唯一のデータベース
 - 1715社 × 1090項目 (2025年版)
- ランキング・格付け・集計表等派生データもご提供



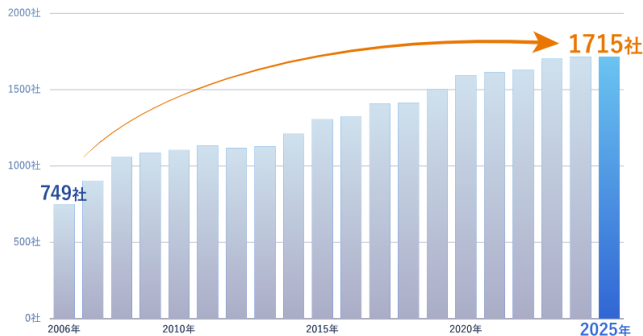
<https://biz.toyokeizai.net/data/service/detail/id=321>

POINT 1

2006年版から20年以上の時系列分析が可能

過去分データは2006年版から提供可能で、5年・10年などの長期分析が行えます。掲載社数は年々増加しています。下の図は年版ごとの掲載社数の推移を示しています。2006年版に749社だった掲載社数は、2025年版では1,715社まで増加しました。(過去分データ購入には追加料金がかかります。)

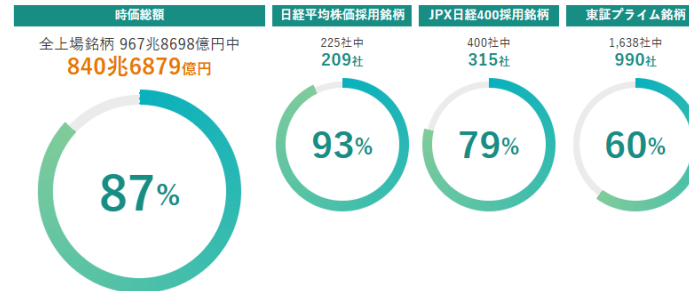
掲載社数の推移



POINT 2

収録社数は1,715社
時価総額で87%を網羅

収録社数1,715社の規模を、さまざまな割合で示したのが下の図になります。時価総額ベースで全上場企業のうち87%、日経平均採用銘柄の225社のうち209社の情報が取得できます。
※CSRデータ発売前の2024年11月末時点を基準に調査しています。



POINT 3

国内最大規模かつ唯一のCSRデータ

1090項目に及ぶCSRデータは、国内最大かつ唯一のデータといえます。「雇用人材活用 (467項目)」、「CSR全般・社会貢献・内部統制等 (352項目)」、「環境 (271項目)」の3カテゴリーのファイルで構成しており、カテゴリごとの購入も可能です。



どんな分析ができる？

CSRデータは、記述式の回答項目も充実しています。以下のような記述式の項目を利用して、テキストマイニングを行うことができます。

- 『会社四季報』や『CSR企業総覧』のデータを活用した、非財務情報の分析を目的とする オンラインサービス
- 役員選任議案への議決権行使業務支援や他社分析に利用可能
 - 検索結果をテキストファイルでダウンロード可能



主な掲載項目

<役員情報>

- ・役員氏名、移動情報など

<CSR情報>

- ・CSR全般、人材活用、環境対策など

<コーポレート・ガバナンス報告書>

<大株主情報>

- ・株主名、持株数、持株比率など

<財務情報>

- ・ROE、配当総額、自己株式取得額など

<各種開示資料>

- ・決算短信、有報、株主総会招集通知など

■ [6501] 日立製作所 | マイリストに登録 (206件)

| 会社概要 | 経営人事 | 役員 | 大株主 | CSR情報 | CSR | 財務 | 開示 |
|------|--------------------------------------|-------|---|-------|-----|----|----|
| 正式社名 | 株式会社日立製作所 | 上場市場 | 東証1部、東証1部 | | | | |
| 英訳社名 | Hitachi, Ltd. | 東証の業種 | 電気機器 | | | | |
| 本社 | 〒100-8080 東京都千代田区丸の内1-6-6 | 電話番号 | 03-8058-1111 | | | | |
| 従業員 | 【連結】 33,300名 【単社】 35,831名 (2017年03月) | 会社HP | http://www.hitachi.co.jp/ | | | | |
| 取引銀行 | みずほ三井住友信託三井住友信託 | 監査法人 | 新日本 | | | | |
| 転簿証券 | 野村證券三井住友信託大和証券 | 特任監理人 | 兼任氏 | | | | |
| 生入先 | - | 監査先 | みずほ銀行 | | | | |

| | 2013年03月 | 2014年03月 | 2015年03月 | 2016年03月 | 2017年03月 |
|-------------|------------|------------|------------|------------|------------|
| 株主総会招集通知開示日 | | | | 2015/05/24 | 2017/05/28 |
| 株主総会開催日 | 2013/05/21 | 2014/06/20 | 2015/06/26 | 2016/05/22 | 2017/05/21 |
| 組織形態 | | | 指名委員会等設置会社 | 指名委員会等設置会社 | 指名委員会等設置会社 |
| ROE | 6.1 | 11.9 | 7.8 | 6.1 | 8.1 |
| 総還元性向 | 27.2 | 20.8 | 28.6 | 33.0 | 27.1 |
| 外国人持株比率 | 41.8 | 40.4 | 44.9 | 39.7 | 42.0 |
| 定款上の取締役の任期 | | | 1 | 1 | 1 |
| 定款上の取締役の員数 | | | 20 | 20 | 20 |
| 取締役総数 | 10 | 14 | 12 | 10 | 10 |
| うち社外取締役 | 7 | 8 | 8 | 9 | 9 |
| うち独立取締役 | | | 6 | 9 | 9 |
| 定款上の監査役の員数 | | | | | |
| 監査役総数 | | | | | |
| うち社外監査役 | | | | | |
| うち独立監査役 | | | | | |
| 特別員数 | 1 | 2 | 1 | 2 | 2 |
| 外国人役員数 | | | | 4 | 4 |

- 『CSR企業総覧（ランキング＆集計編）』掲載情報をデータ化
 - CSR評価ランキングデータ（CSR企業ランキング）
 - 業種別集計データ（制度・体制編）（数値項目編）
- 業種に限定したランキング・分析が容易に
 - 専門家（企業担当者や大学研究者など）のスポット利用に対応
- 購入しやすいクレジット決済が可能

**東洋経済
CSR評価ランキング
データ**

「CSR企業ランキング」や「ESG企業ランキング」などの各種ランキングをCSVファイルでダウンロードできます。

**東洋経済
CSR業種別集計
（制度・体制編）**

「マテリアリティ設定」や「再生可能エネルギーの導入」などの項目をCSVファイルでダウンロードできます。

**東洋経済
CSR業種別集計
（数値項目編）**

「3年後離職率」や「役職の登用状況」などの項目をCSVファイルでダウンロードできます。

主要なユーザー・利用目的等①

- 研究者から学生、投資機関や事業会社など、幅広いステークホルダーに対してデータ提供を実施

| ユーザー | 主な利用場面 | 利用例・概要、主な利用コンテンツ |
|--------|--|--|
| 大学（研究） | <ul style="list-style-type: none"> ・研究、調査 ・授業、講義、ゼミナール | <ul style="list-style-type: none"> ・研究・分析の基データとして利用 （例）人材活用が企業の生産性に与える影響、副業・兼業制度と企業のパフォーマンスの関係、従業員の世界分布やシニア人材活用に関する分析、CSR評価データを企業のCSR達成度とみなした企業分析、CSR担当部署の設置状況等と企業のCSR活動進捗度との関係、他 ・データを用いた独自の評価作成や教材としての利用（データ分析等） ・これまでは雇用・人材活用編の利用が中心も、環境や社会貢献等の情報へのニーズが拡大中。海外大学での利用実績も ・社会課題に対する企業の関与の状況把握など ・東洋経済CSRデータユーザーの約6割を占める <p>【主な利用コンテンツ】『CSR企業総覧』シリーズ、東洋経済CSRデータ、ランキングデータ・格付けデータ、DCL、週刊東洋経済、東洋経済オンライン</p> |

主要なユーザー・利用目的等②

| ユーザー | 主な利用場面 | 利用例・概要、主な利用コンテンツ |
|-----------------------|--|---|
| 就職活動（学生） 転職活動 | <ul style="list-style-type: none"> 企業分析 応募企業の選定 | <ul style="list-style-type: none"> 応募企業や内定承諾企業の絞り込み（『就職四季報』シリーズ等との組み合わせ） 人材関連情報の利用が中心も、環境・社会貢献活動等の情報への関心も拡大 オンライン記事やDCL経由（国内主要大学が導入）の閲覧が多い <p>【主な利用コンテンツ】『CSR企業総覧』シリーズ、DCL、週刊東洋経済、東洋経済オンライン</p> |
| シンクタンク・ コンサルティング企業 | <ul style="list-style-type: none"> 基本情報の整理 調査研究対象の選定 事例分析 | <ul style="list-style-type: none"> ESG市場の動向をリサーチ 研究・レポート作成の基礎データとして利用 企業へのコンサルティング業務で紹介する事例の分析 CSRデータを活用し、示唆の提示やアドバイザリーサービスへの展開に利用 <p>【主な利用コンテンツ】『CSR企業総覧』シリーズ、東洋経済CSRデータ、東洋経済ESGオンライン、週刊東洋経済、東洋経済オンライン</p> |

主要なユーザー・利用目的等③

| ユーザー | 主な利用場面 | 利用例・概要、主な利用コンテンツ |
|-------------------------|---|--|
| <p>運用会社・ 信託銀行など</p> | <ul style="list-style-type: none"> 基礎調査 CSR・ESG・サステナビリティ情報DBの構築 企業とのダイアログ 投資対象選定 インデックス等の開発 議決権行使業務 | <ul style="list-style-type: none"> 基礎調査・研究への利用 (例) 女性の雇用 (女性管理職比率、部長職比率等)、ガバナンス関連、品質管理基準、環境データ他 自社の調査データや他関連情報データを組み合わせたデータベースの構築 ETF・インデックス構築の基礎情報として利用 (例) 設備・人材投資ETF、プラチナキャリア・インデックス、日本版ドラッカー研究所スコアの基礎データなど 投資企業とのダイアログなどの際に、同業他社との比較情報として利用 議決権行使業務 (例) 取締役の兼任先・数の確認、役員情報、議案人事の把握他 諸制度・規制などへの対応状況の調査 <p>【主な利用コンテンツ】『CSR企業総覧』シリーズ、東洋経済CSRデータ、ランキングデータ・格付けデータ、東洋経済ESGオンライン</p> |

主要なユーザー・利用目的等④

| ユーザー | 主な利用場面 | 利用例・概要、主な利用コンテンツ |
|-------|--|--|
| 企業担当者 | <ul style="list-style-type: none"> CSR関連情報の分析 事例分析 制度改定など事例探索 | <ul style="list-style-type: none"> 同業他社の状況の分析 自社の現状把握、KPI設定の基礎情報として利用 CSR評価・ランキングを用いた自社のCSR施策進捗度合いの時系列分析 事例分析など自社施策検討への活用 人事制度改定や報酬ベアなど、雇用人材に関連する検討に係る事例探索 CO2削減貢献量算定に利用する他社CO2排出量を把握するために利用 人材育成戦略の企画立案の参考情報として利用 人的資本開示における戦略策定のための他社事例収集として利用 <p>【主な利用コンテンツ】『CSR企業総覧』シリーズ、東洋経済CSRデータ、東洋経済ESGオンライン、『CSR企業総覧』オンラインサービス、週刊東洋経済、東洋経済オンライン</p> |
| その他 | | <ul style="list-style-type: none"> 就職活動向けのサービスの基礎情報として利用 環境関連サービスの提供先選定 ランキング情報のメディア掲載（CSR企業ランキング、SDGs企業ランキング等） 特定情報のメディア掲載（障害者雇用率など） 企業HPや統合報告書への掲載材料 |

調査に関する東洋経済の取り組み

- ご回答企業をメンバーとする「[東洋経済サステナビリティフォーラム](#)」
(2018年2月設立) を中心とする取り組み

| 名称 | 内容 |
|------------------------------------|--|
| CSR調査・評価説明会 | 2012年開始。調査・評価の概要・結果のご説明。関連するテーマの専門家による特別講演やディスカッションを開催する場合も。無償。 |
| 個別質問会 | 2016年5月開始。これまで延べ388社と開催（2025年3月時点）。事前にご質問をいただき、 本説明会でご説明しきれなかった内容について 、個別にお会いしてご説明。今後のサステナビリティに関する意見交換も実施。調査内容に反映することも。ライバル企業との差や自社の得点についてのご質問が多い。無償。 |
| CSR Fileダウンロードシステム | 会員向け資料提供サービスポータルサイト。以下の資料を閲覧可能。会員企業にID・パスワードをお知らせ。ID追加、PW変更可能。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 『CSR企業総覧』 個別掲載ページ（過去15年分） ・ CSR企業ランキング報告書（過去10年分） ・ PDF調査票（直近調査用） ・ CSR企業ランキング上位800社 ・ 格付け一覧、業種別集計表、各種レポート etc... |
| 東洋経済CSRセミナー | 関連するテーマについて、社内外の専門家を招いて開催するセミナー（一部有料）。優先参加が可能。近年は当社セミナー部門主催セミナーのご案内が増加。 |

| 協力・参加 | 主な内容 |
|--------------------------|--|
| インデックスなどの作成 | <ul style="list-style-type: none"> • プラチナキャリア・インデックスの基データ • 「日本版ドラッカー研究所スコア」の基データひとつ |
| グリーン購入大賞 | <ul style="list-style-type: none"> • 第18回（2017年）から後援 |
| 読者・ユーザーとの対話・意見交換 | <ul style="list-style-type: none"> • 金融機関（ファンドマネージャー、銀行など）、大学教授、コンサルティング会社、公共機関、情報ベンダーなど • 大学での寄付講座（青山学院大学、明治大学など） |
| 関連企業との連携 | <ul style="list-style-type: none"> • 第20回（2024年）調査から、シェルパ・アンド・カンパニー社（Smart ESG）とシステム連携 • さらなる関連企業との連携も検討中 |
| その他個別でご協力・情報交換 | <ul style="list-style-type: none"> • 可能な範囲での企業マネジメント層への説明・意見交換会を実施 • 依頼があればセミナー講師なども |

外部と関わり、独りよがりにならない調査に

- 回答をとおして、自社のCSR・サステナビリティ関連の取り組みの整理や進捗の確認ができる
- CSR評価をとおして、自社の現在地や強み・弱みが見える
 - 各社の評価に使用された情報は確認可能
- さまざまな媒体で自社の取り組みを発信できる
 - 投資家に限らず、就活生や一般の方向けの情報発信も
- 説明会・セミナーなどでのインプットが可能
- 個別の説明や意見交換が可能
- 統合報告書など自社メディアで公開可能な分析資料の材料にも

ご清聴ありがとうございました。
